

社会资本総合整備計画　　社会资本整備総合交付金

平成30年02月02日

計画の名称	連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消（交通拠点連携集中支援）										重点配分対象の該当	<input checked="" type="radio"/>
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）											
交付対象	大阪府											
計画の目標	鉄道を高架化して踏切を除却する抜本対策を実施することにより、都市交通の円滑化を図るとともに、周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図るものである。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	117,228	A	117,228	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					H30当初	H32末	H34末
1	踏切における踏切渋滞の解消 ①踏切遮断時間の解消 ①日あたりの踏切遮断時間の減少　1日あたり踏切遮断時間=Σ除却対象踏切の1日あたり遮断時間【踏切交通実態終点検結果（H19.4公表）】×【除却済〔0〕、片側除却〔0.6〕、未完了〔1〕】				322h/日	322h/日	322h/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																							
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況						
											H30	H31	R02	R03	R04								
		一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																							
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	近鉄奈良線連続立体交差事業（若江岩田駅～東花園駅付近）	連立 L=3.3km	東大阪市	■	■				61,440	1.3	—				
	国債設定年度：平成30年度～平成31年度																						
	A01-002	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	南海本線・高師浜線連続立体交差事業（羽衣駅～高石駅付近）	連立 L=4.1km	高石市	■	■	■	■		55,788	1.1	—				
	国債設定年度：平成30年度～平成33年度																						
											小計						117,228						
											合計						117,228						

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	3,052	0			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	3,052	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	106			
支払済額 (e)	2,946	106			
翌年度繰越額 (f)	106	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消（交通拠点連携集中支援）

事 前 評 價	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>